

3月の月例情報市場のご報告をいたします。

■活動報告 ■物品情報 ■後記

## □活動報告

日時 2013年3月20日(水) 14時~16時

場所 ふれあい福祉センター

参加者 長野市災害ボランティア委員会 鈴木さん、村田さん、倉石さん

謙竹会 駒津さん

風のウイング 風間さん

ビハーラ長野 笠原さん

被災地オテガミプロジェクト 久保田さん

支援ネット 込山・事務局

他見学1名

長野市ボラセン 戸田さん、長岡さん、西澤さん、小野さん、松岡さん

込山 今まで祝日は避けていましたが、今回ちょうど震災から2年ということで「災害支援ボランティア」をテーマに開催することにしました。お集まりいただき、ありがとうございます。月例情報市場は、つながる・伝える場、情報共有する場です。いろいろな話をしましょう。自己紹介から。

戸田 ボランティアセンターの戸田です。支援ネットでは、理事をしています。情報市場、物品提供、応援金の事業があります。

風のウイング 風間 ねこ・布ぞうりを編んでいます。東北のほうに支援をすることになり、面白いいきさつをお話ししたいと思います。

謙竹会 駒津 民謡と津軽三味線の会です。ボランティア連絡協議会に所属しています。震災が起きてから、他人事ではなく、自分のことという意識で活動してきました。炊き出し、感謝祭の民謡コンサート、りんご・わらじをつくって届けるなど。また今度3日後に出発、りんごとおやきを届けに参ります。自分の目で見て確かめたい方が8名ほど加わって21名で行くことになっています。

ボラセン 小野 震災から2年です。継続していく支援活動、かわらばん読者・市民が活動に参加できる活動を取り上げたいと思って取材に来ました。

福ソウくんプロジェクト 伊藤 寄付していただいた布や小物を販売して、大槌町の小

学校に本を買う資金を送っています。最初からでなく昨年 1 月からの参加ですが、思いは同じです。2 年目で参加する方が増えています。何かができるとうれしいので、月 2 回やっています

JC 倉石 青年会議所の委員会で、他団体との連携をテーマに活動しています。

長野市災害ボランティア委員会事務局 倉石 自分自身、自分にできることとして事務局をさせていただきましたが、長野からできることに取り組んでいます。大槌町の中学校に本を贈ったり、ハンドメイドの講座を開いたりしています。5~6 月に本をお届けできそうなので、その準備にかかっています。

同 鈴木 2 年経ちました。伝えることを大切にしていきたいと思っています。

ボラセン松岡 かわらばん取材です。

村田 最初、栄村、そのあと一週間後、大槌町に行きました。

西澤 避難されている方、支援したい方の相談に乗っています。

込山 誰がくるかわからないところが、面白いところです。何となく、どんな人がいるか安心してもらえたと思います。

笠原 ビハーラ長野という浄土真宗本願寺派長野教区を主とするボランティアグループです。150 名ほどが活動しました。みなし仮設住宅は支援が少なく、8000 人近い方が支援を求めています。

ボラセン長岡 福ソウくんプロジェクトをしています。これは誰でも来れるサロンです。

込山 人と人をつなげるのが得意で、かわらばんの記者と月例市場の司会をさせてもらっています。100 回もしているので、楽しい技を覚えめました。〇をふたつ描いてください……何で私の言うことがわからないのか?と思うことはあるけど、半分伝わればいいんだよ、ということを知ってもらえれば! では、各団体の発表を。



#### ■長野市災害ボランティア委員会 鈴木

<http://dvcnagano.naganoblog.jp/>

V 連、支援ネット、NPO センター、自主的に立ち上げた委員会です。

長野市から公的に認められているわけではありません。これまでの主な活動は、

- 現地へのボランティア派遣
- 支援物資支給
- 被災地での支援活動・炊き出し
- 市内での支援活動

・支援グッズ売り上げによる支援

などで、2年間に渡る活動をしてきました。昨年10月で大槌町の外部受け入れはとまっているので、派遣活動は収束していますが、現在活動中の支援プロジェクトは以下の通りです。



### ■はんどめいどプロジェクト

<http://handmadepje.naganoblog.jp/>

・広徳中 学祭などで、売り上げを寄付していただきました。大槌町の本屋さんを通して購入する資金になるのがミソです。ネット販売もしています。

### ■長野元気プロジェクト

<http://genkiproject2012.naganoblog.jp/>

大槌町の花屋さんを通じ、月命日に、町役場にお花を届けています。忘れていませんというメッセージです。元気ニュースも発行しています。募金箱を置いていただける場所（イベントなども）募集しています。

### ■帰ってきた！ ハナマガリ鮭T

<http://saket311.naganoblog.jp/>

細く長く。勢いでいくわけではないが、これからも支援していきたいです。今日、初めて試作品を持ってきました。メッシュ地などもあります。予約受付中です！

### ■伝えるプロジェクト

2011年～12年の活動を伝える14枚のパネルができています。

今、2012年の活動をまとめているので、全部で20枚くらいになります。

学校や地域への貸出も行っています。学習などで使いたい方はご連絡ください。

<https://docs.google.com/file/d/OB2Mi7D6xjW2eQ1pLVnpfdVpYWEU/edit?usp=sharing&pli=1>

現地の活動受け入れもなくなっており、今後は、ボランティアの体制も変わっていきます。ボランティアの派遣より、心のつながりがメインなってきました。岩手県社協受け入れのキャンプも3月はじめでラスト。今までの委員会で検討したが、定期的な活動は4月で収束し、個別の支援プロジェクトは継続します。細く長く。事務局も4月

の委員会をもって閉鎖、10月完成予定の報告書をもって正式な解散の予定となっています。組織としての委員会は持たないけれども、委員会の支援はつながっていきます。込山 皆さんも、これからのつながりに関心を持っていただければと思います。途中から来られた方お願いします。

### ■被災地オテガミプロジェクト 久保田 (連絡先 090-2455-5677)

陸前高田市にお手紙を出そうというプロジェクトをしています。72歳です。長野へ来て4年です。震災後、大船渡、陸前高田、石巻などをまわって、各々親しい人をつくってきました。そういう関係を、個人的なことではなく、組織的にしていったらいいのではと思いました。6月に行き、7・8月にそう思い、9月にシニア大学の仲間を誘いました。陸前高田には5月にも行きました。職員が100人亡くなっています。時間・体力・機会がないけれど、何かしたいという方がたくさんいます。そういう方々に、筆一本で、参加できる支援の方法をご提供したいと思いました。



どうやってお手紙を集めようか。考えたのが、私書箱です。中央郵便局へすっ飛んでいって、局留め扱いという方法を聞きました。人が集まるところに、いかにPRするか考えました。絆ポストと称して黄色いリボンをつけたポストを自分でつくって、喫茶店などをまわったのですが、あなたが来るまで預かれない、とか、個人情報を書いてあるからとか、いろんなことがありました。

また、公民館で市の許可をとってこいといわれ、長野市教育委員会の後援をいただきました。図書館など180箇所くらい。ロータリー、ライオンズをはじめ、企業にもまわっています。メディアにも出演しました。12月から、市民新聞、テレビ、NHK ラジオ、信濃毎日新聞、朝日新聞など。県下から上田・松本・飯田等反響がありました。138通のお手紙を寄せていただきました。中身は点検しています。

集めた手紙を社協に送り、仮設の集会所で開いているお茶のみサロンでオープンしていただき、回し読みしたりしているそうです。住所名前書いてあるので、興味がある人いれば、交流が成立します。これからこそ、モノの支援より、心の支援だと思います。

#### ■ビハーラ長野 笠原 （連絡先 234-1796 長野教区教務所）

みなし仮設の方々に対する支援。被災者です、と言えないとか、あいつが悪いとか、人間同士の苦しみがあります。2年間経って、支援も終わっていきます。

門徒さん中心に2ヶ月に一度行っています。無料でおそばやわたあめを出して、交流会を企画しています。3/21~4日間行きます。お茶会も固定化しているので、無料の食べ物があると心の交流ができると思います。



込山 そういう活動は、知らなかったですね。今日はチラシを見てこられたのですか？

笠原 そうです。ボランティア募集してもなかなか集まりません。松本の信濃むつみ高校の学生さんとか来てくださいますが、少ないときは4~6名です。

これからおそばを提供するのに、手品ができる方とか、余興できる方、365日仮設でテレビをイヤホンでみているだけなので、笑いの手法を持っている方とつながれ

たらありがたいです。

村田 行くときの交通費は？

笠原 お寺ということもあり、長野県の門徒さんから、助け合い募金を募りましたところ、100万円近く集まりました。1回20万円かかります。仙台市内にお寺があるので、宿泊は無料となりますが、交通費などあとは自己負担が基本です。

戸田 マジックといえば、謙竹さんはマジックできる方がいっしょにいて披露されたんですよね？ ボラセンも、たくさん余興ができるボランティアグループの登録がありますので、投げかけると、一緒に行ける方がいるのでは？と思います。

みなし仮設の在宅避難者の支援についても難しいと聞いています。

#### ■風のウイング 風間さん

災害間もないときに、大槌町吉里吉里地区の炊き出しのお手伝いをしました。400名静かに並ばれました。最後に、かばんをしょった中学生5~6人が、焼き肉は数ヶ月ぶり、美味しい美味しいと言われました。



ほうきをお借りしたいのですが、と言いましたら、近くの方が持ってきて下さった。名前聞けばよかったと思いましたが、のちにその方にお行きあいでき、ねこ布ぞうり、着物などを送りました。その方が床屋さんの奥さんで、ねこ、ぞうりで散髪してください、交流センター所長が散髪に行ったときに「いいもの履いてるね、着てるね」という話になり、4日間通い詰めたそうです。これは長野から送られてきたと聞き、教えてほしい、講習会を開いてほしい、と。それで1月に手紙をいただいたのです。

3月に1回目を開催しました。7人が講師です。ぞうり100、ねこ127、ミシン2台、ぞうり台20台を持っていき、45名参加いただきました。

復旧には程遠い中、寄り添う気持ちで夢中な一日を過ごしました。用意を十分にしていたので、持ち帰っていただけました。一日楽しく過ごせて、ありがとう、という言葉をいただき、本当によかったと思えました。

仮設と在宅の方々も、ものづくりがきっかけでいい交流ができたとのこと。交流センターは、災害以降、在宅の人しか入れないことになっていたが、講習会をすることで、本当の意味での交流ができるようになったそうです。

5月には布ぞうりのはなおロープを着物をといて送りましたその後、5回くらい講習会を開きましたが、長野から5人で電車で行き、釜石まで4人迎えに来て下さる関係になりました。コツを一つ一つ丁寧に教えました。このころは、お互い大きな声で笑えるようになりました。

23～25日、また講習会を開きます。近い将来、販売につなげたいと思っています。

このつながりを大切に、細く長くお手伝いをしていきたい。

60代から80代、グランドマザーパワーです。一人でも多く会員になってほしい。会員募集中です。

■謙竹会 駒津さん 震災の6月にV連のできることをしようという呼びかけによって、千曲デリクックさんと駅前炊き出しに行きました。在宅被災者が私たちも手伝わせてと3名来られました。私がそこに行くという話をしていたら、ボラセンさんから、行くなら三味線持って行って、と言われました。まだそんな雰囲気じゃないよ、と思いが強かったが持って行きました。そうしたら、お昼に、きょう民謡していただけるんですよね、と。配膳後にさせていただきます、と。

日本の民謡で、心を和ませたいと思います。岩手、山形、長野の民謡に、思っていた以上に、手拍子があり、自分も歌いたいという姿が出てきました。被災地でないような状態がそこに展開されたのです。

幼稚園の子ども達も歌ってくれましたが、りんごの歌と北国の春。大きな声で。どうしてそんなに昔の歌を歌うの?と聞くと、おじいちゃんおばあちゃんと歌えるから。それを聞いて涙が出ました。そのような中で、南部俵つみ唄（なんぶたわらつみうた）が出てきました。これならできる曲だ、と一緒に演奏しました。

私がつくったボランティア音頭という曲もあります。歌詞カードもあります。



風間さん（左）と駒津さん（右）

感動の涙を流してくれました。自分たちの今の気持ちにぴったりだ。避難所になっている体育館の人たちが、ここにも来てくれと。夕飯の炊き出しが間に合わない、と言ったら何時でもいい、と。避難所の人たちがすごい拍手を下さいました。

Tシャツ、ジーパン、半幅帯1本、扇子1つで、3人の若い女性が踊ってくれ、皆さんが喜んでくれました。最後に皆でボランティア音頭も。

仕切りのない、ふとんが積み重なっている体育館の中で、一人立ち、二人立ち、、、笑顔で一緒に踊ってくれました。

また来るからねと言った以上、放っておけないという気持ちです。自分にできることは、三味線をひいて歌って踊るだけだけど。時間、お金、車の都合がつけば行きたいです。今も、ずっと行っています。被災地の、岩手県の民謡の先生方との絆も結ばれています。

在宅被災者の方々とのつながりもできてきました。その方々がいてくれるから、バスで行って、向こうの方が車を出してくれるんです。りんごを配ることができるのです。

迷惑をかけに行っているのではないか、という気持ちにかられることもあるのですが、信州のりんごやおやきを届け、歌や踊りをひとときでも楽しんでいただきたいと思います。

夏祭りのときは、縄をなったこともないメンバー6人で戸隠に通って、必要なわらじを

120足揃え、8月に届けました。

ししまいの子ども達、心から歓迎してくれました。「おかげさまでこれでお祭りができます。白装束にズックではさまにならない」と。わらじがはけて、新聞にも出ました。吉里吉里地区を中心とした活動ですが、今後もこれで終わりではなく、まだまだ続けていきたいなと思っています。笠原さんの話でも、もし私がお役にたつことがあればご一緒させていただきたい。他の地区でも役に立てるなら。今回は、山田町にも行きま

す  
込山 では、今度は長野でしている活動を。

■福ゾウくんプロジェクト 伊藤 仕事をやめて、浪合から避難している方を存じ上げるようになり、市民新聞を見て参加しました。参加したい気持ちはあったが、参加してよかったです。いろんな人と知り合えるし。縫うのは得意ではないのですが、教えていただけるのも嬉しい。



近藤 私も何かで知って。何かしようかと思って何回かここへ足をはこび、何もできなかったが、これくらいなら参加できるかな、と昨年6月くらいから来ています。いざ行くとなるといろいろ大変なところもあるので。

長岡 ここはサロンですね。誰でもいつでもフラッと来てほしいです。

毎月昼間2回、夜1回しています。毎回新しい方が1~2人参加しています。

縫い物系、編み物系あり、材料はほとんど寄付です。作品は、ボランティアさんのアイデアで、教えあったりして楽しくやっています。それほど熱くないけど、きっかけがあれば、ささやかだけどという方々も多いです。ささやかといっても、ふれあいまつりやボランティアのつどいにも出展し、販売は総額10万円超えています。ちりも積もれば、で大きな力になっています。交流も大切にしながら、できるところで無理なく。

昼間は主婦・退職者など、夜間は学生さんやおつとめ帰りの方もいます。昼は2回ありますので、参加できる日に参加いただけます。男性のもできるといいですね。

込山 テーマは忘れないこと、ですね。



#### ■長野青年会議所 市民連携委員会 倉石

青年会議所としては、震災直後、災害対策例会になりました。支援物資を集めて、日本 JC トラクター3 台くらいで執行部が現地入りしました。長野が災害にあったらどうする?と地域防災委員会は現地視察し、小学生を集めて、避難体験と地域防災マップづくりをしました。が、JC の弱点ですが、年によって違いますので、今年はその委員会はありません。びんするに栄村の方を呼ぶといった活動はしたいと思っています。



発表をお聞きしていて、皆さんの情熱がすごいと思います。青年会議所では、地域のために頑張っている 40 歳以下の若者を表彰するながの未来力大賞というのをしますので、よろしくお願いします。

<http://www.nagano-jc.jp/mirairyoku/>

戸田 災害時は物資が足りず、企業と協定を結べると行政としては安心です。新潟の中越地震のときは、運営委員の縁で、企業に、こちらからピンポイントで連絡し、炊き出しをしました。毎日 500 名分、6 時につくって運んでいました。

JCさんなどに連絡すれば、必要な物資が集まってくるルートできてくるといいなと思います。

#### 災害ボランティア委員会 鮭Tプロジェクト 村田

9月で終了し、大槌町の中学校、小学校の一部に 470 万円寄付しました。8700 枚の売り上げです。

8~9 回行っているが、風景があまり変わっていません。8 月、震災が起こって 2 年近く経っているが、止めていいのかな、と。

意外とデザインの評判がいいんです。岩手県宮沢賢治と大槌町の魚と 3/11 がデザインされています。目標 2000 枚、100 万円の寄付です。クラブ活動の資金となります。また協力いただければと思います。

マスコミにも取り上げていただいたが、一番は口コミでした。発信するというのは、やりたいと思う活動。本当に広がっていったなと思います。

幼稚園の先生、お寿司屋さんのユニフォームになっていたりします。サークルとかクラブとか育成会とか、演奏、活動しているときとか、1 枚 1500 円の場合、500 円が活動費になります。キッズ用は 300 円。バッグ、手ぬぐい、チュニックもあります。

予約受け付けます。



デザイナーは東京の長野亮之介さんです。大槌町のシンボルになるもの。傘をさして、にやっと笑っています。言われて初めてメッセージ性がわかる。違和感なく着れるんです。プロのデザイナーの仕事だなあと感じます。

Tシャツを着ている写真を世界中から送ってもらいました。

大槌町では4つの小学校が被災して、仮設校舎と一緒にいて、4名の校長がいます。制服ばらばらでした。が、同じ校舎です。4校合同の運動会で着てもらいました。6色で。まとまって嬉しかった、と聞きました。

宮沢賢治記念館の館長さんにも言いました。生家にも弟の孫がいます。雨にも負けず、の版を持っているんですが、我慢して頑張ろうという広まっていますが、雨にも負けずでなく、西に病気の…の「行って寄り添う思想・生き様」、困っている人のそばに寄り添う。決して、我慢してしなさいよでなく。そこが大切だったのだという話が、非常に印象に残っています。

楽しんでやっています。

**元気プロジェクト**についても。

お花を送る活動を去年の4月から続けています。月に7000~15000円くらい集まっています。役場総務課に窓口になっていただいて、大槌町の花屋さんから1万円+手数料1000円振り込んでいます。役場入口に飾っていただいています。

大槌町では、派遣された関西の方が亡くなりました。

役場は、現地の人から見ると、やらなければならない立場ですが、メールが来るのが夜の11時など。本当に大変な状況。人が足りない。

1割の役員が亡くなったんです。そして3割が応援の人ですが、3月で引き上げとなり、減っていきます。だから、今年1年間も送りたいのです。募金箱をおけるところ

募集しています。

元気ニュースという新聞を発行しています。募金箱をおくところも明記しています。団体のイベントのときにも紹介してほしい。募金箱の徴収のときに新聞を持って行っていただけるようにしています。

倉石 委員会事務局 2年間担当しました。現地に行きたいけど行けない。けど何かしたいという方にたくさんお会いしました。現地に行くことも大切ですが、長野で忘れないでいることも大切だと思います。委員会の活動で伝えるプロジェクトや毎月311円募金がありますので、皆さんができることを続けていってほしいと思います。

込山 さて、支援ネットも災害ボランティア委員会の一員です。ここで、支援ネットから、応援金をお渡しします。

倉石 ありがとうございます。事務局は一旦閉鎖しますが、まとめていると30項目の取り組みを2年間でやってきました。報告書にまとめていきますので、そこに使わせていただきます。



込山 情報市場は、情報共有する場です。今日は、皆さんの活動をお聞きすることができ、有意義な時間となりました。長野でできることを細く長く。是非続けていきたいですね。ありがとうございました。

□物品情報

- ・万国旗 ボラセンまで。

□その他情報

- 長野市ボランティアセンター

◎今月の「ボランティアかわらばん」

<http://www.vnetnagano.or.jp/kawaraban/kawarabanpdf/kawaraban366.pdf>

後記

・今回は祝日拡大版として、様々な団体の皆さんに、災害支援ボランティアというキーワードで集まっていただきました。突き動かされるものがあり動く中で、人と人がつながっていく。そこから生まれるものが、また次の動きをつくっていくのですね。手紙や歌、ハンドメイドなど、手から手へ伝えられるたしかな温もりの力をあらためて感じました。

- イベント情報や月例市場で発表したい！など、お気軽にお寄せください。

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

メール info★nagano-shien.net（★をアットマークに変えて送ってください）

FAX 026-224-1513

（な）

